

1 題材名 男女の協力

2 題材設定の理由

5年生になると男女がお互いに異性への関心が高まってくる。身体面では、少しずつ差が現れ、不安な気持ちになったりする。精神面では、大人びた行動と未熟なところを合わせ持っていて、異性に対して反発したり非協力的だったりする。

本題材では「男らしさ」「女らしさ」を見なおし、男にしかできないこと、女にしかできないことはあまりないことを認識させたい。そして、この時期に「らしさ」にとらわれず「よりよく生きること」「自分らしく生きること」が大切であること、男女とも平等であり、お互いに尊敬し、考え行動できる人間になることを目指したい。

二次性徴をむかえた5年生という時期に、自分を見つめなおし、自分自身を肯定することで「よりよく生きよう」とする心を養いたい。

3 指導のねらい

- 自分たちが持っている性差についてのイメージについて話し合い、性別について心理的な差別があることに気付かせ、お互いに認め合う心を育てる。
- 人間としての自分の良さや他人の良さを見つめさせ、自分らしく生きていこうとする態度を養う。

4 児童の実態について（男子○名、女子○名、合計○名）アンケート調査日 ○月○日（○）  
調査項目

5年1組	男・女（○でかこんでください）
次のアンケートに答えてください。	
1 「男のくせに」「女のくせに」という理由で、嫌なことを言われたことはありませんか。 ある・ない	
2 1で（ある）と答えた人は、どんなことですか。 （	）
3 そのとき、どんな気持ちがしましたか・ （	）

（結果、考察）

5 学習計画及び評価基準

月 日	過程	活動の場	活動内容	評価基準
○月○日	事前	帰りの会	アンケートを実施する。	性に関するアンケートについて、自分の課題を見つけようとしている。 （関心・意欲度）
○月○日	本時	学級活動	男女に役割について話し合い、自分の生活を振り返り、自分の良さや他人の良さについて話し合う。	男女の役割について話し合い、健全な生活の大切さや実践方法などを理解している。（知識・理解） 性別にとらわれず、互いに認め協力して生きていく方法を考え、判断している。（思考・判断）
○月○日	事後	学級活動	※セルフエスティームが高まるよう、お互いを認め尊敬し合えるよう仲間意識を育てる。	健全な生活を目指してお互いが認め合い、尊敬し合えるように実践することができる。 （技能・表現）

※ セルフエスティームとは、自尊心あるいは、自尊感情と訳され、自分の能力や価値に対する自信の程度を意味している。

6 本時の指導

(1) 目標

- 自分たちがもっている性差についてのイメージについて話し合い、性別に対する心理的な差別があることに気付かせ、お互いに認め合う心を育てる。

(2) 準備・資料

- ①アンケート結果表②文殊カード③「男」「女」「どっちかな？」の分類用カード④ワークシート⑤心の花束

(3) 展開

学習活動・内容	教師の援助及び評価		資料
	T 1	T 2	
<p>1 本時の課題を確かめる。</p> <p>(1) グループづくりをする。</p> <p>(2) 性に関することからかわれた経験がある人が多いことを知る</p> <p>(3) 課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>男女の役わりについて考えてみよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バースディーゲームにより楽しい仲間づくりをし、話しやすい雰囲気を作っておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前調査結果を表にして見て、課題意識を持たせる。</li> </ul>	①
<p>2 「男」,「女」と聞いて、ブレインストーミングをする。</p> <p>(1) 「男とは」「女とは」のあとに考えられる言葉を続けてみる。</p> <p>(2) 出た言葉をカードに書く。</p> <p>(3) 出た言葉をグループごとに発表し、分類する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブレインストーミングの「4つの約束」を確認する。</li> <li>1 批判コメントしない</li> <li>2 自由に考え出す</li> <li>3 他の人のまねも良い</li> <li>4 思いついたこと何でも良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見が出ないグループには、家庭での役割、職業、体、雰囲気など、ヒントを与える。</li> </ul>	②
<p>3 性についての考えを見なおし、自分の中の性に対する偏見について話し合う。</p> <p>(1) 2で出した仲間分けについて、意見を述べ合う。</p> <p>(2) 再度仲間わけをしなおし、ほとんどのものが性別にとらわれないことをつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「男」「女」「どっちかな？」のカードを用意し、黒板を使って、全員で分類する。</li> <li>・ ほとんどのものが性別ではなく個人の違いであることをおさえる。</li> <li>生まれつきでない鍛えられて身につける時代が違う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見が出ない場合は、ひとつ例を取り上げてみる。</li> </ul>	
<p>4 自分のよさ、友達のよさを見つめなおし性別にとらわれない人間の個性を発表する。</p> <p>(1) 自分のよいところを思いつくだけたくさんあげる。</p> <p>(2) グループの友達のよさを思いつくだけたくさんあげる。</p> <p>(3) 友達にメッセージをあげる。</p>	<p>(評価) 性に関する偏見に気づき、仲間わけをしなおすことができる。(発表・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分や、友達のよさを考えることで、自分を肯定し、友達の個性を認める姿勢を養いたい。</li> </ul>		③
<p>5 本時の学習を振り返り、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別にとらわれない人間の良さがあり、互いに認め合って協力して生きていくための目当てをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男らしさ、女らしさということにだけとらわれず自分らしさが大切であることをおさえる。</li> </ul> <p>(評価) 自分や友達の良さを認め、自信持つていくとともに、お互いに尊敬しあおうとする意欲がもてたか。(カード・発表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達のよさをカードに書きこみ、交換して心の花束としてまとめる</li> </ul>	④ ⑤

7 事後指導への配慮事項

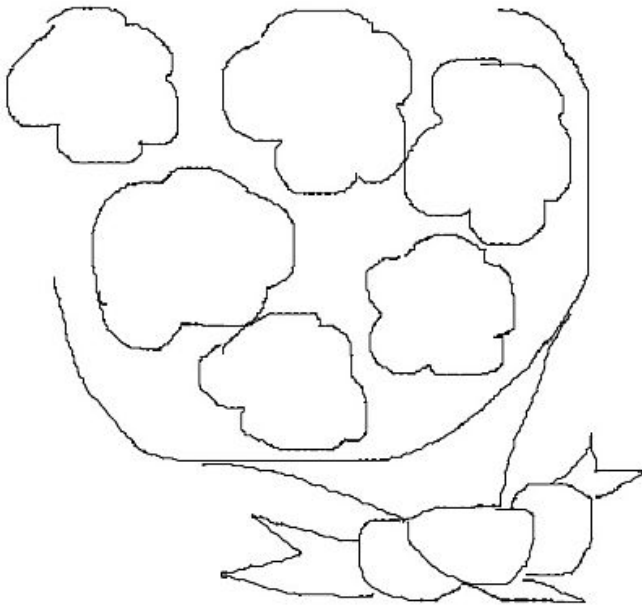
日常生活の中で、お互いを認め、尊敬し合えるよう仲間意識が育つよう機会を持たせることにより、よりよい行動を実践することができるようにする。

男

女

どっちかな？

友達のよいところを書き出してみよう。



心の花束      はん

(例)

# 「私のよさ発見カード」

○月○日 ○校時

## —自分のよいところを書き出してみよう—

- ・はっきりしていること
- ・外で元気に遊べる
- ・たぬきのポン太
- ・外で元気に遊ぶこと
- ・決めたこと最後までやる
- ・けががおおい
- ・力持ち
- ・かぜひかない
- ・運がいい
- ・水泳がとくい
- ・返事をする
- ・かぜひかない
- ・本を進んで読む
- ・元気
- ・水泳がとくい
- ・弟の面倒をみる
- ・お父さんやお母さんの手伝い
- ・弟や妹の世話をする
- ・水曜と金曜にたまに水とぎをする
- ・野球を熱心にとりくんでいる
- ・手伝いをする
- ・たまに弟にバナナをあげる
- ・たまにお母さんにマッサージをやる
- ・短気、呑気、損気がそろってる
- ・やろうと思ったら最後までやり通す
- ・何でもやり通そうとするところ
- ・家の手伝いをできるところ
- ・ライバルに負けないと思う気持ち
- ・人にやさしいこと
- ・やさしい
- ・ときどきお手伝いをする
- ・やさしいこと
- ・やさしいところ
- ・声がでかい
- ・家事の手伝い
- ・よわくなった
- ・のんびりおしゃべり好き
- ・やさしいところ
- ・頭がよくて心がやさしい
- ・毎日よく遊び人にやさしい
- ・マイペース
- ・物を最後まで使う
- ・やさしい

資料4 ワークシート

## 私のよさ発見カード

自分のよいところを書き出してみよう。